

報 道 資 料

平成20年11月25日
(財)奈良県中小企業支援センター
担当 地域結集型共同研究推進室
室長:浅井 TEL:0742-36-8316
奈良県商工労働部工業支援課
担当 科学技術振興グループ
課長補佐:池田(内線 3564)

韓国・完州（ワンジュウ）柿産業クラスター との農産物クラスター交流会を開催します。

奈良県地域結集型研究開発プログラムの研究成果を活かした企業化を促進するために設置された奈良県植物機能活用クラスター協議会は、このたび、韓国・完州（ワンジュウ）柿産業クラスター及び(財)高山香（ゴサンヒャン）地域産業振興院の来訪を受け、農産物に関する産業クラスターという共通の観点で、相互の取り組みについて意見交換をおこなう交流会をはじめて開催することになりました。

1. 目 的

地域ブランド構築や農産物加工技術に関する情報交換を通じた交流による相互の産業クラスターの発展を図る。

2. 実施日時及び場所

平成20年11月26日（水） 14:30～16:30
なら産業活性化プラザ イベントホール 奈良市柏木町129-1

3. 実施内容

- 「2008年農産物クラスター交流会」
- ・両クラスター及び財団の紹介・取り組み内容説明
 - ・意見交換

4. 来訪者

(財)高山香地域産業振興院 院長他1名 計2名
完州柿産業クラスター 事務局長他1名 計2名

※取材については、「両クラスター及び財団の紹介・取り組み内容説明」のみ可能とします。

(参考資料)

■ 奈良県植物機能活用クラスター協議会について

奈良県地域結集型研究開発プログラムの円滑な推進のため、産研学の交流を促進するとともに、事業コンセプトの共有化、地域ブランド戦略の検討や研究成果の利活用体制の構築を図り、植物機能活用クラスターの形成とその発展を図ることを目的として、平成18年6月に設立されました。

本協議会は、(独)科学技術振興機構の支援を受けて、(財)奈良県中小企業支援センターが中核機関として実施している奈良県地域結集型研究開発プログラム「古都奈良の世紀植物機能活用技術の開発」(H18.1～H22.12)の成果利活用体制としての役割を持っています。(事務局は、同センター及び県工業支援課です。)

設立以来、毎年シンポジウムを開催するとともに、研究者、産業界、県関係部局及び支援センターが一体となって、地域ブランドの構築や研究成果の企業化を促進しています。

なお、地域結集型研究開発プログラムとは、「国が定めた重点研究の中から、地域が目指す特定の研究開発目標に向け、大学、公設試験研究機関、民間企業等が結集して共同研究を行うことにより、新技術・新産業の創出に資すること」を目的としています。

■ 韓国・完州(ワンジュウ)柿産業クラスター及び(財)高山香(ゴサンヒャン)地域産業振興院について

(財)高山香(ゴサンヒャン)地域産業振興院は、2004年、韓国全北全州市に地域経済の活性化と地域農産物を利用した産業発展のために設立されました。

同院は、「高山香(ゴサンヒャン)」という地域ブランドを創り、地域の農産加工商品の付加価値を高める活動を行ってきました。韓国でその実績を認められ、2007年に「地域革新大統領賞」を受賞しました。

本年、完州(ワンジュウ)柿産業クラスターが設立され、活動を開始しました。なお、同クラスターは、柿だけでなく、他の農産品も含めたクラスターです。

今回の訪問は、外国の農産物産業の調査と農業クラスター間の交流により、同クラスター発展に繋げようとするものです。

